



東日本大震災復興支援



第29回三浦ー伊東ヨットレース

帆走指示書

1. 責任の所在

- ・ 本レースのレース委員会はレースの公平な成立のみに責任を担う。
- ・ 本レースにおいて主催・運営、共同主催、後援、協力・協賛に関する団体等はレース参加艇の乗員および安全について、何ら責任を負うものではない。
- ・ 艇と乗組員の安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良の状態で十分な耐航性を有するように保持し、あらゆる状況下においてもそれに対抗できる経験十分な乗組員を乗り込ませるよう万全を尽くさねばならない。
- ・ オーナーは船体、スパー、リギン、セールおよび他のすべての備品を確実に整備し、また安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をすべてのクルーに熟知させておかなければならない。
- ・ 参加艇がスタートするか否か、あるいはレースを続行するか否かなど、自艇の運航の判断についてはすべて各艇の責任でのみ決定される。
- ・ オーナーおよび艇長は上記の基本規定を乗組員各人に周知徹底しておく必要がある。

2. 適用規則

- 2-1 国際セーリング競技規則2009-2012 (RRS)。
- 2-2 外洋レース規則 2009。
- 2-3 セーリング装備規則。
- 2-4 海上衝突予防法。
- 2-5 IRC RULE 2011 但しIRC22.4.2 は適用しない、
したがってクルーの数もしくは体重の制限はない。
- 2-6 ORC Rating Systems 2011 (ORC Rule) &IMS2011。
- 2-7 第29回三浦一伊東ヨットレース公示及び帆走指示書。

なお、これらに矛盾が生ずる場合には、本帆走指示書の内容を優先する。

3. スタート日時予定

2011年6月4日(土)

予告信号： 09:25 予定

スタート信号： 09:30 予定

4. 艇長会議

日時： 2011年6月4日(土) 受付07:00 (07:20~07:45)

会場： 油壺ヨットハーバー (三崎マリン) 2F会議室

- ・ 出艇申告書(乗員リスト等)に変更・訂正があるときは、艇長会議時に、再提出すること。
- ・ 参加艇のレーティングを記載したエントリーリストは艇長会議にて配布する。

5. 参加艇に対する通告

前項会場に設置される公式掲示板に掲示する。帆走指示書の変更は艇長会議で説明し、公式掲示板に掲示する。但し、海上で帆走指示書を変更する場合は口頭で通告する。スタートまで、公式掲示板は油壺ヨットハーバー (三崎マリン) 2階に設置する。スタート後は、伊東サンライズマリーナパーティー会場入口に移動する。

6. レース旗

レース旗は実行委員会から支給する“がんばれ東日本旗”とする。レース中は艇体後部のデッキから1.5m以上の高さに掲揚すること。なお、旗の趣旨からレース時以外(停泊時も)支障のない限り通年にわたり掲揚することをお願いしたい。

7. 部門分け及びクラス識別旗

IRC 部門 (A, B, Cクラス): イエローリボン

ORC-Club 部門 (A, B, Cクラス): ピンクリボン

オープンクラス部門 (A, B, Cクラス): ブルーリボン

それぞれの識別旗は前項のレース旗の下に掲揚すること。

参加艇の数によっては()内のクラス分けを変更することがある。

8. コース

(スタート) 相模湾網代崎灯浮標付近

(フィニッシュ) 伊東サンライズマリーナ沖。コース短縮の場合には初島北側とする。

なお、短縮のあるなしにかかわらず、いずれの場合でも初島の北側を通過すること。

スタート後にコース短縮する場合、参加艇に対する海上における通告は行わない。参加艇は、初島北側通過時にフィニッシュ・ラインの存在を必ず確認すること。(下記の

12項参照のこと)

9. スタート

9-1 チェックインの義務付け (必ずチェックインを行うこと)

参加艇は予告信号前で本部艇がL旗を掲揚している間に、メインセールをあげ機帆走にてスタボード・タックをもって本部艇の風下側を通過し、セールナンバー、艇名および申告乗員数の確認を受けること。

チェックインは参加艇とレース委員会側との安全確保のための重要確認事項であるため、チェックインを履行しない艇にはペナルティを課す。

9-2 スタートは次の通りの信号で合図する。なお、クラス部門分けにかかわらず、全艇同時スタートとする。

- ・ 予告信号 (スタートの5分前): 外洋三崎大バージの掲揚と音響信号1声
- ・ 準備信号 (スタートの4分前): P旗掲揚と音響信号1声
- ・ 1分信号 (スタートの1分前): P旗降下と音響信号1声
- ・ スタート信号 : 外洋三崎大バージの降下と音響信号1声

9-3 スタートラインは、スタボード・エンドとなる本部艇 (モータークルーザー: 油壺号) の外洋三崎大エンサインを掲げたポールと、ポート・エンドとなるマーク (橙色円筒ブイ) とを結ぶ線とする。

9-4 スタート信号後15分以内にスタートしなかった艇は、DNSとする。(規則A4.1変更) スタート信号後15分を経過したらスタートラインは撤去される。

10. リコール

リコール艇があった場合には、RRS 29.2 により音響信号（1声）とともにX旗が掲揚される。X旗はリコール艇が完全に復帰したら降下する。但し、スタート信号後4分を経過したらリコール艇が復帰しなくても降下する。

11. ゼネラルリコール

ゼネラルリコールの場合、RRS 29.3 により音響信号（2声）とともに第1代表旗が掲揚される。新しいスタートの予告信号は第1代表旗降下（音響信号1声）の1分後に発せられる。

12. フィニッシュ・ライン

・初島北側の場合：（コース短縮の場合）

N 35° 02' 45" E 139° 10' 15" 付近に設置され、外洋三崎大エンサインを掲げたフィニッシュ本部艇（きぬぐも）のポールと、フィニッシュ・マーク（橙色円筒ブイ）とを結ぶ線とする。この位置はおおよそである。差異は抗議の対象とはならない。

・伊東サンライズマリーナ沖の場合：

沖からみて初島と丸いガスタンクとの直線上、ホテルサンハトヤの南側に位置する外洋三崎大エンサインを掲げたフィニッシュ本部艇（きぬぐも）のポールと、フィニッシュ・マーク（橙色円筒ブイ）とを結ぶ線とする。

13. タイム・リミット

タイム・リミットは6月4日17：00とする。タイム・リミットまでにフィニッシュしなかった艇はDNFとする。（規則35 規則A4.1の変更）

14. 本部艇

スタート本部艇 : 油壺号 (30F モータークルーザー：ハルカラー白)

フィニッシュ本部艇：きぬぐも (32F モータークルーザー：ハルカラー白)

15. リタイアの際の連絡

リタイアした艇は、レース旗を降下し、レース中の他艇を妨害しないようにレースエリアを離れ、できるだけ早くレース委員会本部にその旨を連絡しなければならない。連絡は艇の責任者が行ない、第三者に伝言を託してはならない。

16. 参加艇の義務

- 16-1 参加艇の全ての乗員は自らの安全を確保できるライフジャケットを着用すること。(着用義務は伊東サンライズマリーナ着岸まで。伊東保安指示)
- 16-2 レース艇は、初島北側通過予定時間の1時間前にレース委員会本部への電話連絡をすること。

17. 失格に代わる罰則

RRS 第2章以外の規則違反については、失格に代わる罰則として、所要時間の3%タイムペナルティを適用することがある。

18. 抗議

本レースの趣旨を鑑みて、(セーリング規則 2009-2012 に定義される第5章の抗議、救済が存在するが) 参加艇は RRS の基本原則にのっとり基本的に抗議のない形でフェアプレーを行うものとする。

19. レースの成立

各部門、トップ艇のタイム・リミット内でのフィニッシュをもって成立とする。

20. 通信連絡の徹底

- ・6月4日全日、レース委員会及び実行委員会から参加各艇に連絡を取る場合があるので、出艇申告時登録された携帯電話は常時通話可能な状態にしておくこと。
- ・参加艇からのレース中におけるリタイア、事故発生、避難等の連絡は25項の電話先とする。

21. 成績の算出

21-1 IRC 部門

IRC ルール 2011 に基づき、TCC の係数を所要時間につけ、その修正時間が少ない艇より順位をきめる。

21-2 ORC-Club 部門

ORC レイティング・システム 2011 に基づき、パフォーマンス・ライン・システム (PLS) により計算する。GT で同順位の艇がある場合はレーティングの低い艇を上位とする。

21-3 オープンクラス部門

レース委員会が設定したレーティング方法により順位を算出する。

2.2. 表彰内容（予定）

IRC 部門

ファーストホーム賞

総合優勝

Aクラス 優勝、2位、3位

Bクラス 優勝、2位、3位

Cクラス 優勝、2位、3位

ORC-Club 部門

ファーストホーム賞

総合優勝

Aクラス 優勝、2位、3位

Bクラス 優勝、2位、3位

Cクラス 優勝、2位、3位

オープンクラス部門

ファーストホーム賞

総合優勝

Aクラス 優勝、2位、3位

Bクラス 優勝、2位、3位

Cクラス 優勝、2位、3位

2.3. レースの中止

悪天候、その他の事情によるやむを得ないレース中止は6月4日（土）07：00までに公式掲示板に掲示するとともに、参加全艇の申告携帯電話に対しその旨の通告をおこなう。

2.4. 緊急救助体制

各艇からの連絡状況、気象、海象の状況から遭難の可能性が高いとレース委員会が判断した場合は、当該艇の緊急連絡先に連絡し、協議のうえ海上保安庁に捜索要請を行う。

2.5. 緊急連絡先

(1) レース委員会本部 6月4日 07：00～18：30

TEL：090-8875-3661（鈴木）

TEL：090-3202-7131（山田）

TEL：090-3232-0067（浅野）

(2) 海上保安庁

局番なし 118

26. 伊東サンライズマリーナ陸上本部連絡先 6月4日 10:00~18:30

(実行委員会) TEL: 080-1379-8370 (有本)

TEL: 090-9963-3795 (山田)

(伊東市ヨット協会) TEL: 090-4863-6953 (堀崎)

27. 表彰式・パーティー

日時: 6月4日(土) 18:00 受付開始

18:30 開宴

会場: 伊豆高原ビール(伊東マリンタウン内)

会費: 1名 ¥5,000(ただし、中学生以下は無料)

備考: パーティー参加者全員に、記念オリジナルTシャツプレゼント。

28. 本帆走指示書に対する質問

艇長会議に加えて、以下の方法にて帆走指示書の質問を受け付ける。

1) 受付方法: FAXもしくはメールによる質問を受け付ける

2) 受付日時: 月~金の10:00~17:00として6月1日17:00まで。

3) 受付先: FAX 03-3476-7221

E-MAIL yamada@meltis.po-jp.com

29. レース運営団体および大会運営主要役員

主催・運営 : NPO油壺湾特別泊地協会(特泊協)

共同主催 : 油壺ヨットクラブ(AYC)

諸磯ヨットオーナーズクラブ(MYOC)

伊東市ヨット協会

JSAF 外洋加盟団体 外洋三崎

大会委員長 鈴木 保夫 特泊協: きぬぐも

実行委員長 清水 泰文 // : 都 風

副実行委員長 桧垣 真弓 // : ギャレオン

レース委員長 山田 茂雄 // : 貴竿坊

副レース委員長 浅野 英武 // : コルバッチ

プロテスト委員長 鈴木 一行

以上